

提出された意見及び市民活動支援センターの考え方

No.	意 見	市民活動支援センターの考え
1	基本目標Ⅰ「市民が多く集う」の主要課題「積極的な啓蒙・啓発」について、啓蒙とは、上から目線であり、「蒙」という字は差別的な意味もあるものと思っている。そのため、啓蒙は削除した方が良いのではないか。	啓蒙とは、新たな知識や気づきなどを教え導くという意味で使われていますが、ご意見にありますように不適切と捉えられることもありますので、「積極的な啓発」に修正します。
2	基本目標Ⅱ「市民活動の情報が見える」について、実際に登録団体が何団体あり、その内稼働している情報サイトは何パーセントあり、使いこなせていない団体さんが何パーセントあるのか？その数字はまず、情報サイトに予算をかけてシステム導入した時の目標との誤差はどのくらいあるのか？そこまでの検証はされていますか？ また、目標としての600件は一団体の更新を含むとする場合はそれは目標としてよいのか？ (例 A団体 30回/年を30とカウントすると情報サイトの有効性は図れない気がします)	市民活動情報サイト（以下、「情報サイト」という。）については、令和6年11月30日現在、市民活動支援センター（以下、「センター」という。）の登録団体201団体のうち約65%に当たる130団体が活用しています。その内、令和6年4月から11月までの8か月間に更新を行った団体は約41%に当たる53団体です。ページの開設はされているものの団体情報が掲載されていない団体は約22%の29団体です。 情報サイトは、センター開設1年後の平成20年に独自のホームページを持つことが困難な団体などが紙ベースの情報発信だけでなく電子媒体での情報発信が容易にできるよう導入したものです。当時は、各団体の事情により必要に応じて活用していただければという考えで導入したと聞いており、具体的な数値目標は資料が残っていないため不明ですが、これまで情報発信の重要性を伝えながら情報サイトの活用推進を図ってきました。さらに、来年度からは情報サイトへの登録及び更新を団体登録時の要件とし、市内の市民活動が情報サイトで確認できるようにしたいと考えています。 また、情報サイトへのアクセス件数が団体別でわかることから、こうしたデータを活用及び公表することで、団体の皆様のやる気を高め継続的に取り組んでいただけるよう引き続き職員によるサポートもしっかり行っていきます。 なお、情報サイトへの更新件数についても、団体ごとに把握できますので、更新件数が少ない団体へは、事情の聞き取りや更新を積極的にサポートし活用の底上げを行うことで、登録団体全体で情報サイトにおける市民活動の見える化に取り組んでいきたいと考えています。

提出された意見及び市民活動支援センターの考え方

No.	意 見	市民活動支援センターの考え
3	基本目標Ⅱ「市民活動の情報が見える」について、情報サイトは、個人的には使い勝手が悪くほとんど活用できていません。簡単にアクセスできるよう改善してほしいと思っています。	情報サイトについては、パッケージシステムを採用していることもあり、独自の改修は難しい状況ですが、サイトの操作方法や団体情報の作成・発信の方法などの相談の他、各団体からの要望等に応じて職員が丁寧なサポートを行っていますので、お気軽にお声がけいただき、是非、情報発信ツールの一つとしてご活用ください。
4	基本目標Ⅲ「市民活動の人材を育てる」について、春日井市に限らず、各種の市民活動は、高齢化により参加者の確保が難しくなっているように感じます。原因はいろいろあると思いますが、10年前までは定年退職した人々が、市民活動に参加するケースが多かったと思います。最近では、定年退職の年齢になっても引き続き働く場合が多く、市民活動に参加する人々が少なくなっており、高齢化に加えて活動者のメンバー確保が困難になってきているように思います。成果指標を作成することはいいことだと思いますが、年齢構成の推移を目標の中に追加してほしいと思います。	基本目標Ⅲの成果指標については、春日井市第六次総合計画の成果指標である「(分野：市民活動)地域活動やボランティア活動に参加している人の割合(%)」を参考としたものです。この成果指標は令和3年度に実施した市民意識調査を踏まえて設定しており、また、各年代別(10代～80代以上)の状況も勘案されていることから、御意見のあった年齢別の推移については、この成果指標中に含むものとして考えています。 なお、市民活動団体における新たな担い手を発掘し継続して活動できる環境を確保していくことは重要な課題であると認識しています。そのためには団体の存在や活動内容を広く市民の皆様に周知し興味を持っていただくことが重要であることから、市民活動登録団体の皆様には、次のセンター事業については是非協働で取り組んでいただきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。 ○市民活動情報サイトやパネル展示会を活用した団体活動の情報発信 ○イベントやセミナーへの参加 ○青少年ボランティアスクール等の参加者受入れ ○各団体主催イベントへの大学生ボランティアの受入れ

提出された意見及び市民活動支援センターの考え方

No.	意 見	市民活動支援センターの考え
5	基本目標Ⅴ「市民活動が自立し協働する」について、協働の定義に個人差があるため、協働事例は名義貸しだけでも含まれるのか？	「市民活動が自立し協働する」の目標件数280件については、団体と市（行政）が協働して取り組んだ事業の件数です。これは、団体と市（行政）が共通の目的を達成するために協働で実施する事業を想定しています。市（行政）とNPO法人、ボランティア団体、区・町内会、事業者等が協力・連携する事業や取り組みであることから、その形態は事業協力、事業共催、委託、補助等が挙げられます。 この件数は、毎年、市の各所属から報告を受けたものを集計していますので、ご指摘のような事例は含まれないものと考えています。
6	基本目標Ⅴ「市民活動が自立し協働する」について、「団体とセンターの協働企画」についての要望 1 現在、市民活動団体とセンターが参加して、仮称ささえ愛センターまつり実行委員会を立ち上げて、来年4月に仮称ささえ愛センターまつりの開催に向けて話し合いを行っていますので、全面的に協力をお願いします。 2 ささえ愛センター市民交流会議（センターが主導して設立した団体）が来年3月に解散予定ですので、それに代わる団体が設立できるように積極的に協力をお願いします。	ささえ愛センターまつりは、市民活動団体の存在や活動内容等を知ってもらう良い機会にできるよう登録団体の皆様が協力して実行委員会を構築し、主体的に進めていくことになったと認識していますので、センターとしても積極的に実行委員会に参加していきたいと考えています。 ささえ愛センター市民交流会議については、市民活動の様々な分野における連携や活性化をはかるための事業等の企画・運営・実施や、登録団体の相互理解の促進と協働の構築を主たる目的と掲げているため、本来であれば市内の市民活動団体における中間支援組織としての位置付けを持ち合わせているものと考えています。 市民活動が自立し協働するためには、次世代を担う新たな活動者の発掘や育成、活動する団体同士の連携や活性化の推進を図ることが重要と考えていますので、そのための施策を着実に実施していきます。

提出された意見及び市民活動支援センターの考え方

No.	意 見	市民活動支援センターの考え
7	全体を通して意見なし	—
8	全体を通して意見なし	—
9	全体を通して意見なし	—
10	全体を通して意見なし	—
11	全体を通して意見なし	—

ささえ愛センターの基本理念・基本目標などについて

【基本理念】

【基本目標】

【主要課題】

まちづくりを支える市民活動の拠点

I 市民が多く集う

ハード面の充実

積極的な啓蒙・啓発

市民向けのイベント開催

II 市民活動の情報が
みえる

市民活動情報の集積

市民活動情報の整理

市民活動情報の発信

III 市民活動の人材を
育てる

既存団体からの助言

人材育成セミナーの開催

IV 市民活動が活発に
なる

市民活動団体の誕生

団体同士の連携

既存団体の成長

V 市民活動が自立し
協働する

コーディネート業務

団体とセンターの協働企画

別紙「成果指標(案)について」

ささえ愛センター開設時に設定した基本目標Ⅰ～Ⅴについて、当センターの支援や本市の市民活動の状況などを検証するための数値目標がないことから、成果指標を作成します。

基本目標Ⅰ～Ⅴに対する当センターが考えた成果指標については、次のとおりです。

団体の皆さんのご意見、ご感想を是非、お聞かせください。

●基本目標Ⅰ・・・(ささえ愛センターに) 市民が多く集う

この目標を計るわかりやすい成果指標として「ささえ愛センターの来館者数」としています。

目標値は、令和5年度の来館者数38,733人を基に令和10年度には40,000人としています。

●基本目標Ⅱ・・・市民活動の情報がみえる

この目標に対する成果指標を「市民の方が市民活動情報サイトの情報にアクセスする件数」と「登録団体の皆さんが市民活動情報サイトを更新する件数」としてしています。

目標値は、令和5年度の件数84,431件と550件を基に令和10年度には85,000件と600件としています。

●基本目標Ⅲ・・・市民活動の人材を育てる

春日井市第六次総合計画の成果指標となっている「地域活動やボランティア活動に参加している人の割合(%)」をこの目標に対する成果指標としています。

目標値は、令和3年度に実施した市民意識調査の結果44.1%を基に次回実施予定の令和8年度調査結果時には55.0%としています。

●基本目標Ⅳ・・・市民活動が活発になる

この目標に対する成果指標を「ささえ愛センターに新たに登録して活動する団体数」としてしています。

目標値は、令和5年度の新規登録団体15団体を基に令和10年度には20団体としています。

●基本目標Ⅴ・・・市民活動が自立し協働する

この目標に対する成果指標を「団体と市(行政)が協働して取り組んだ事業の件数」としてしています。

目標値は、令和5年度の261件を基に令和10年度には280件としています。